

# 週間市場レポート (2021年4月12日~4月16日)

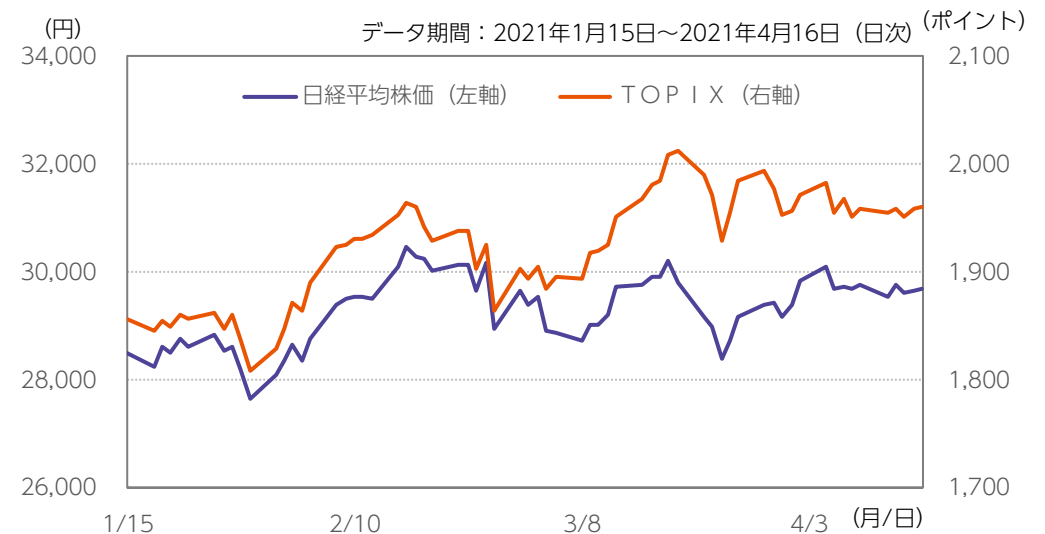
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/4/9	先週末 2021/4/16	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,768.06	29,683.37	▲ 0.28 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,959.47	1,960.87	0.07 ↑
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,800.60	34,200.67	1.18 ↑
S & P500種指数		4,128.80	4,185.47	1.37 ↑
ナスダック総合指数		13,900.19	14,052.34	1.09 ↑
ユーロ・ストックス50指数		3,978.84	4,032.99	1.36 ↑
S & P/ASX300指数		6,986.04	7,057.31	1.02 ↑
上海総合指数		3,450.68	3,426.62	▲ 0.70 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,063.64	1,071.46	0.74 ↑
東証REIT指数		2,056.15	2,063.27	0.35 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		783.84	803.58	2.52 ↑
ASX300 REIT 指数		1,463.90	1,481.20	1.18 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		187.42	191.15	1.99 ↑
日本10年国債 (%)		0.110	0.093	▲ 0.017 ↓
米国10年国債 (%)		1.659	1.580	▲ 0.079 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.303	▲ 0.262	0.041 ↑
英国10年国債 (%)		0.774	0.764	▲ 0.010 ↓
ドル/円		109.67	108.80	▲ 0.79 ↓
ユーロ/円		130.51	130.36	▲ 0.11 ↓
英ポンド/円		150.32	150.49	0.11 ↑
豪ドル/円		83.56	84.15	0.71 ↑
フィラデルフィア半導体指数		3,294.53	3,253.08	▲ 1.26 ↓
WTI原油先物 (ドル)		59.32	63.13	6.42 ↑
CRB指数		186.74	193.21	3.46 ↑

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。大阪などで新型コロナウイルス新規感染者数が連日過去最多を更新するなど、感染拡大を受け、政府が緊急事態宣言に準じた措置である『まん延防止等重点措置』の適用地域をさらに拡大するとの見方から、国内の景気回復の遅れが意識され、週を通じて上値の重い展開となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

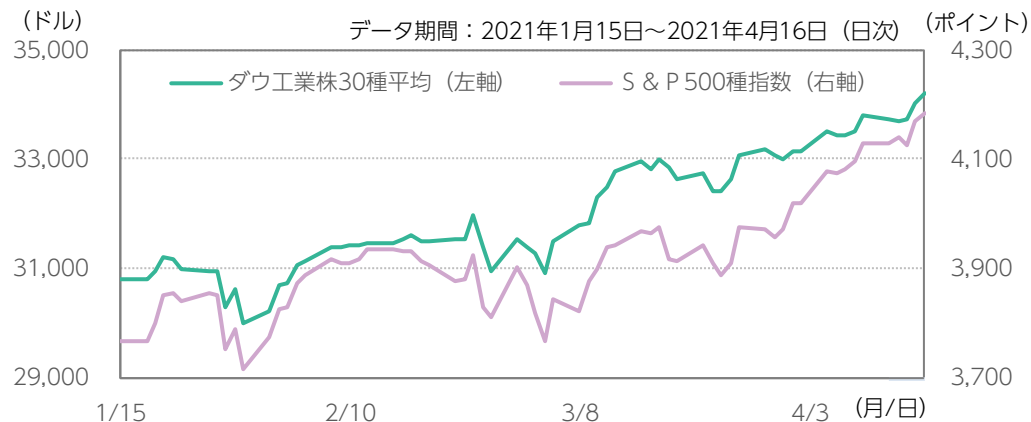
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。国内で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、景気回復が遅れるとの見方から投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

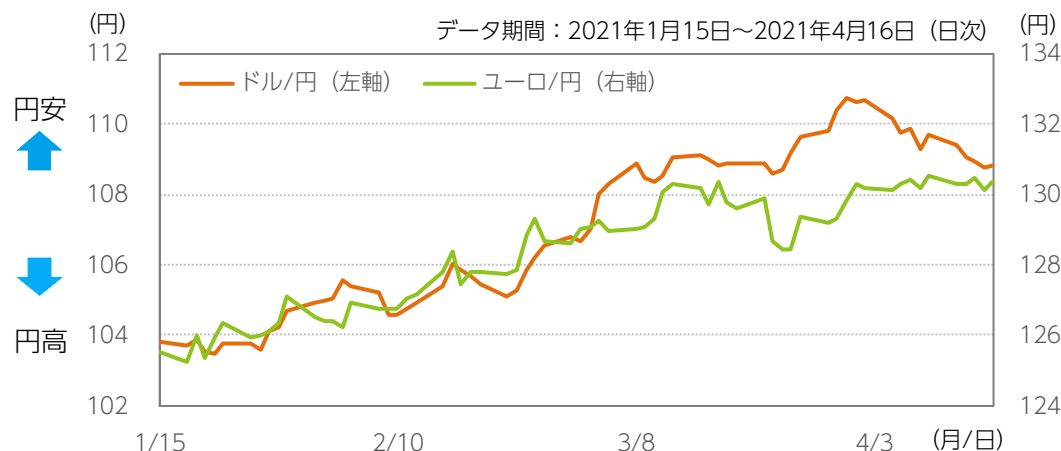
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。大手製薬会社のワクチン接種中断の報道で、ワクチンの普及が遅れるとの懸念が株式市場の重荷となったものの、好調な米主要企業の決算や、3月の小売売上高が市場予想を大幅に上回ったことなどから、米国景気が早期に回復するとの期待が高まり、週後半に大きく買われました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で小幅に円高米ドル安となりました。米国でのワクチン普及の先行き不透明感から米長期金利が低下し、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが進んだものの、堅調な米経済指標の結果を受け、週末には円売り米ドル買いが進んだことから、週間では小幅な円高米ドル安に留まりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、国内外の景気回復期待は高まるものの、国内市場は、感染再拡大による感染防止措置の対象地域拡大懸念から、上値の重い展開となりました。一方、米国市場は、ワクチンの普及が遅れるとの懸念が重荷となったものの、主要企業の好決算を受けて、前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルス感染再拡大の対策として、政府は20日より埼玉や千葉などの4県の一部地域に『まん延防止等重点措置』を適用することを決定しました。正常化に向けて動き出した経済活動が再び停滞することが予想され、景気回復の遅れが懸念されます。

今週より、国内外の主要企業の決算発表が本格スタートします。米企業の業績の改善期待は大きく、米国株式市場は週初より上昇するものと予想します。一方、国内は、業績改善への期待があるものの、感染再拡大で景気回復が遅れるとの懸念が、株価の上値を抑えることとなりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>